



笛吹市

# 議会だより

平成22年10月22日発行

2010

Vol.24

GIKAI DAYORI



せいふう  
笛吹市青楓美術館(一宮町)

画家・津田青楓と親交のあった故 小池唯則氏により開館され、現在は市の管理となっています。青楓の自由な南画風の作品や、思うがままの筆致の書などが展示され、500点以上の作品が収蔵されています。



FUEFUKI CITY



笛吹市

# 議会だより 2010 Vol.24

表紙 ..... 1

あんない・議会日誌・会期日程 ..... 2

荻野市長・行政報告 ..... 3

9月定例議会で決まったこと ..... 4 ~ 7

会派代表質問(6会派) ..... 8 ~ 15

    笛政クラブ    正鶴会    公明党  
    正正会    日本共産党    新和会

一般質問(7人) ..... 16 ~ 23

    網倉 正治議員    野澤今朝幸議員    北嶋 恒男議員  
    亀山 和子議員    志村 直毅議員    中川 秀哉議員  
    新田 治江議員

委員会レポート ..... 24 ~ 25

市民リレートーク / 編集コラム・笛吹川 ..... 26

## あんない CONTENTS



FUEFUKI CITY



### 議会日誌 GIKAI diary

#### 6月 June

- 1日 笛吹市文化協会総会
- 3日 東山梨行政事務組合議会
- 4日 全員協議会・本会議
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 笛吹市体育協会総会
- 9日 政治倫理審査会
- 10日-11日 各常任委員会
- 15日 議会運営委員会・全員協議会・本会議
- 22日 知事意見書提出
- 23日 山梨県高速道路整備促進期成同盟会総会
- 24日 石和駅前土地区画整理事業竣工式
- 25日 教育厚生常任委員会
- 28日 議会運営委員会・全員協議会・第3回臨時会  
議会広報編集委員会
- 29日 大田市場トップセールス
- 30日 北海道岩見沢市議会常任委員会視察研修来庁

#### 7月 July

- 7日 議会広報編集委員会・政治倫理審査会・全員協議会
- 12日 香港トップセールス事業結団式
- 13日 行政評価研修
- 14日 広島県三次市議会会派視察研修来庁
- 20日 一宮学校給食センター起工式、石和鶴飼開き
- 21日 香港トップセールス(～24日)
- 26日 政治倫理審査会・定例全員協議会
- 27日 千葉県佐倉市議会議員視察研修来庁
- 29日 中国太原旅遊職業学院研修生入校式

#### 8月 August

- 5日 上海トップセールス(～9日)
- 10日 東山梨行政事務組合牧丘分署起工式
- 11日 山梨県市議会議長会議員合同研修会
- 16日 甲斐いちのみや大文字焼きセレモニー
- 17日 都市計画マスタープラン住民説明会
- 20日 新山梨環状道路整備促進期成同盟会総会  
笛吹市夏まつり二十日祭神輿旦那衆
- 21日 石和温泉花火大会
- 23日 定例全員協議会
- 25日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合視察研修  
東山梨環境衛生組合議員全員協議会
- 26日 一宮山梨線建設促進期成同盟会総会  
西関東連絡道路整備促進期成同盟会総会  
峡東地域広域水道企業団議員全員協議会
- 27日 議会運営委員会、ごみの共同処理運営委員会
- 28日 中国北京市平谷区訪問事業(～30日)

#### 9月議会・会期日程

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会</li> <li>・質疑・討論・採決</li> <li>・各委員会の審査報告</li> <li>・本会議</li> <li>・議会運営委員会・全員協議会</li> <li>・9月22日(水)</li> <li>・事件審査</li> <li>・各常任委員会</li> <li>・各常任委員会付託案件</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>9月22日(水)</li> <li>9月23日(木)</li> <li>9月24日(金)</li> <li>9月25日(土)</li> <li>9月26日(日)</li> <li>9月27日(月)</li> <li>9月28日(火)</li> <li>9月29日(水)</li> <li>9月30日(木)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表質問</li> <li>・一般質問</li> <li>・10日(金)</li> <li>・16日(木)</li> <li>・9月3日(金) 全員協議会</li> <li>・開会</li> <li>・本会議</li> <li>・会議録署名議員の指名</li> <li>・会期の決定</li> <li>・市長行政報告</li> <li>・提出議案の説明</li> <li>・総括質疑・付託</li> <li>・9月6日(月)</li> <li>・9月7日(火)</li> <li>・9月8日(水)</li> <li>・9月9日(木)</li> <li>・9月14日(火)</li> <li>・9月16日(木)</li> </ul> |
|--|--|---|



# 荻野市長の行政報告

## 多機能アリーナ構想 補正予算を提出！

### 合併特例期間中に行う大型施設整備の現況

石和温泉駅周辺整備事業

駅前広場と国道140号線アクセスの実施設計を策定中、駅舎もJR東日本と協議中で、今後基本協定を締結し事業を進めていきます。

バイオマスセンター  
建設事業

センター候補地5カ所を選定し、用地条件や環境など26項目の検討を重ね石和町砂原地区に絞り込みました。今後、詳細な施設内容や検討を行います。

砂原橋架け替え・  
道路整備事業

河川管理者と協議を進め、砂原橋整備促進期成同盟会で概ねのルートのご了承をいただきました。今後、新橋の位置を決定し、住民への詳細説明と事業推進をしていきます。

多目的施設建設事業

多目的施設建設検討委員会に判断をゆだねていただき、多くのご意見の中、体育館機能に軸足を置いた「多機能アリーナ構想」を議会に示しました。

また本定例会に、補正予算を上程しました。

### 第一次笛吹市総合計画の主要事業

#### 1 市営バス運行事業

市内の一部をモデル地域とし、10月からの運行に向け準備を進めています。随時検証を行い、市内全域で効率的・持続可能な公共交通の再編・整備に取り組みます。

#### 2 海外トップセールス

3年目となる「香港トップセールス」などを実施し、メデイカルツーリズムの商品についても積極的なPR活動を行いました。台湾へ輸出した桃から、モモンシクイガの幼虫が発見され輸出禁止になったことは残念に思います。関係団体と連携し、早期輸出再開に努力します。

#### 3 交通安全対策事業

笛吹署管内で交通死亡事故ゼロ200日が達成され、感謝状をいただきました。

市職員が酒気帯び運転で検挙されるといふ不祥事が起こってしまい、厳格に処分しました。心よりお詫び申し上げますと共に、信頼される市役所づくりを意を尽くします。

また、交通安全対策本部で、秋の交通安全運動に合わせ、「飲

酒運転根絶宣言」を行います。

#### 4 住宅用火災警報器の設置推進

既存の住宅でも、平成23年6月より設置が義務付けられるため、普及率の向上を目指し、警報器モデルの展示や啓発チラシの配布、普及推進リーフレットの全戸配布など啓発活動を展開します。

#### 5 新型インフルエンザ

10月以降、新型インフルエンザワクチン接種事業が実施され、低所得者には負担軽減措置が講じられます。

#### 6 病児・病後児保育

甲府市内にある医療施設併設型の保育所に、業務を委託し、登録しておいた0歳児から小学3年生まで対象にご利用いただけることになりました。

#### 7 地域活動支援センター

障がい児の拠点施設「地域活動支援センター」ありがとつがオープンしました。御坂福祉センターの一部で、支援学校や通所施設の放課後活動の場を提供するものです。

#### 8 住基カードを利用してのコンビニ交付

コンビニ交付は、休日を含み「住民票」や「印鑑証明書」がコンビニエンスストアで取得できるものであり、平成23年3月からの開始を目標に取り組んでいます。

#### 9 市税収納対策

市税の口座振替希望者が金融機関のキャッシュカードを利用し、手続きを簡便に行える口座振替受付サービスを開始し本庁舎窓口で受け付けを行っています。今後も納税環境整備や徴収強化に努めます。

#### 10 職員採用試験

試験職種を一般行政職と保育士及び保健師とし、一般行政職に「障がい者枠」と「自己アピール枠」を設定しました。10月の二次試験を経て、11月に最終合格者を発表する予定です。

9月定例議会における荻野市長の行政報告を要約したものです。

# 平成22年9月定例議会提出案件一覧表

(上野稔議長を除く)  
賛成 反対 棄権

種別	案件名	笛政クラブ				正鶴会				公明党		正正会		日本共産党	新和会	無会派		結果									
		龍澤敦	前島敏彦	大久保俊雄	網倉正治	志村直毅	降矢好文	小林始	松澤隆一	北嶋恒男	中村正彦	川村恵子	渡辺清美	中川秀哉	風間好美	中村善次	新田治江		渡辺正秀	亀山和子	堀内文蔵	内藤武寛	寶修	野沢勝利	野澤今朝幸		
条例改正	・スコレーセンター条例の一部改正 ・国民健康保険条例の一部改正 ・火災予防条例の一部改正																								可決		
22年度補正予算	・一般会計補正予算(第3号)修正案																									否決	
	・一般会計補正予算(第3号)原案																									可決	
	・国民健康保険特別会計補正予算(第3号) ・介護保険特別会計補正予算(第2号) ・介護サービス特別会計補正予算(第2号)																									可決	
	・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)																									可決	
	・公共下水道特別会計補正予算(第2号) ・農業集落排水特別会計補正予算(第1号) ・簡易水道特別会計補正予算(第2号) ・黒駒山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・大積寺山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・稲山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・牛ヶ額恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・大口山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・崩山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・名所山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・春日山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・兜山外五山恩賜県有財産管理会特別会計補正予算(第1号) ・水道事業会計補正予算(第2号)																									可決	
	・一般会計歳入歳出決算																										認定
	・国民健康保険特別会計歳入歳出決算																										認定
	・老人保健特別会計歳入歳出決算																										認定
	・介護保険特別会計歳入歳出決算 ・介護サービス特別会計歳入歳出決算 ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算 ・公共下水道特別会計歳入歳出決算																										認定
	・農業集落排水特別会計歳入歳出決算																										認定
	・簡易水道特別会計歳入歳出決算																										認定
	・黒駒山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・大積寺山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・稲山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・牛ヶ額恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・大口山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・崩山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・名所山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・春日山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算 ・兜山外五山恩賜県有財産管理会特別会計歳入歳出決算																										認定
	・水道事業会計決算																										認定
	・春日居地区温泉給湯事業会計決算																										認定
その他	・過疎地域自立促進計画の策定																									可決	
	・動産の取得(市有バス購入)																									可決	
	・市道廃止																									可決	
	・市道認定																									認定	
人事	・人権擁護委員の候補者の推薦																									承認	
	・監査委員の選任																									同意	

## 修正動議

(4ページ提出案件一覧表の一般会計補正予算第3号)修正案)

議員提案による、多機能アリーナ建設検討事業費予算部分を削除した、一般会計補正予算修正案は否決。

## 人事

監査委員に古屋氏の  
選任を同意

古屋 眞彦

一宮町一ノ宮1636番地  
昭和17年2月2日生

人権擁護委員候補者に

3氏の推薦を承認

網倉 義久

石和町市部1185番地  
昭和19年3月17日生

神宮司 昭子

石和町松本328番地  
昭和11年8月17日生

種原 一雄

春日居町鎮目884番地  
昭和23年1月30日生

# 平成21年度決算に対する審査意見書(要旨)

笛吹市監査委員

7月1日から8月3日まで、平成

21年度的一般会計・特別会計および  
企業会計決算等について監査した結  
果、正確・適正であると認めた。

「一般会計」

滞納額縮減に向け真剣に取り組ま  
れたことを評価するが、依然、数字  
的には厳しい状況であり、これまで  
以上の努力と工夫をお願いする。限  
られた財源を効率的・効果的に活用  
し、行財政改革の推進を求める。な  
お、将来に備えるため、次の事項に  
ついて取り組みをお願いしたい。

- 1、事業評価の促進
- 2、市税および料金等の徴収率の  
向上
- 3、随意契約、業務委託契約の縮減
- 4、補助金適正処理の徹底
- 5、指定管理者制度の検証
- 6、公共施設の耐震化の促進
- 7、災害に対する危機管理体制の  
強化
- 8、公共施設の有効利用
- 9、消防団の統合

「国民健康保険会計」

徹底した滞納整理対策を講じ、収  
入未済額の縮減努力と、財政調整基  
金の必要額確保に努めてほしい。

「老人保健会計」

制度は平成19年度に終わったが、  
国庫・県負担金の交付が決定次第、  
引き続き適切な事務処理に努めてほ  
しい。

「介護保険会計」

公平な保険料負担と安定的継続の  
ため、保険料の収納率向上と不納欠  
損額縮減、健全な保険運営に努めて  
ほしい。

「介護サービス会計」

予防プランの評価、見直しを徹底  
し、十分な成果が得られる取り組み  
を望む。

「後期高齢者医療会計」

徹底した滞納整理対策を講じ、収  
入未済額の縮減に向けた徴収努力を  
望む。

「公共下水道会計」

市の財政計画と整合性を持った事  
業実施が必要で、積極的な加入促進

と収入未済額の縮減対策を望む。

「簡易水道会計」

老朽管の布設替えで有収率の向上  
と、既存施設の使用率の検討、施設  
の統合・維持管理費の削減を行い、  
長期的展望で業務改革、経費節減意  
識の向上を望む。

「財産、基金に関する調査」

的確な管理が行われている。公金  
の安全性確保のため、金融機関の経  
営状況等の情報収集を行い、悪化に  
備え公金運用には一層効率的な運用  
を図っていただきたい。

「水道事業会計」

有収率の低下は、配水経路の漏水  
等が原因だが、耐震性確保のため早  
急な改修を望む。滞納者には様々な  
対応策を検討し、未収金減少のため  
公営企業部全体での取り組みを願  
いする。水道事業の適正な財政運営  
は、市財政の健全性確保のために重  
要な要素で、経費縮減に努め、健全  
な事業経営を望む。

# 平成21年度 笛吹市の家計簿

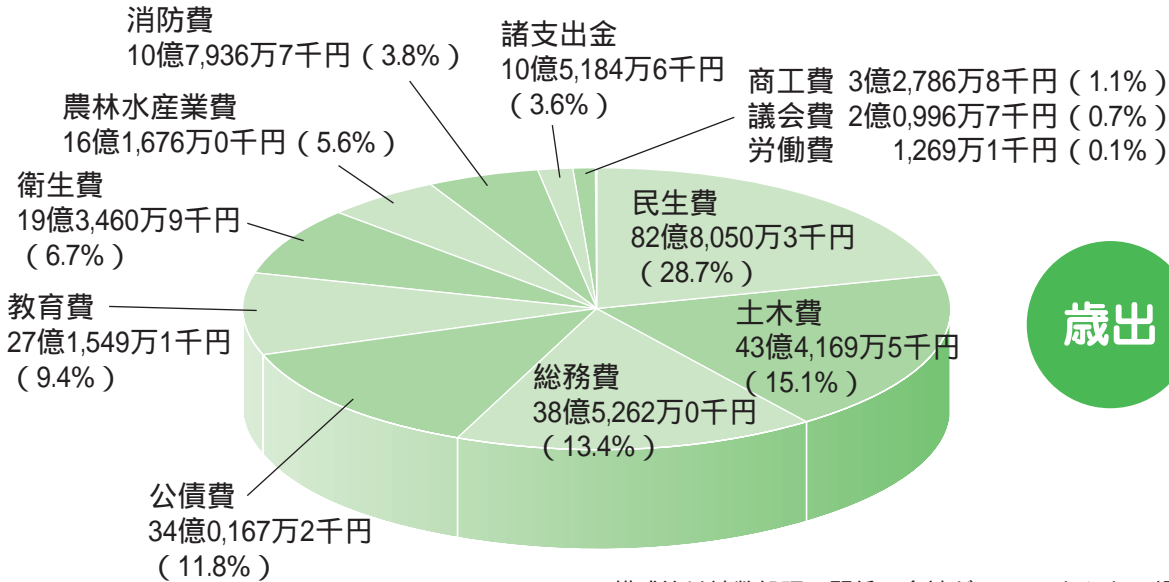
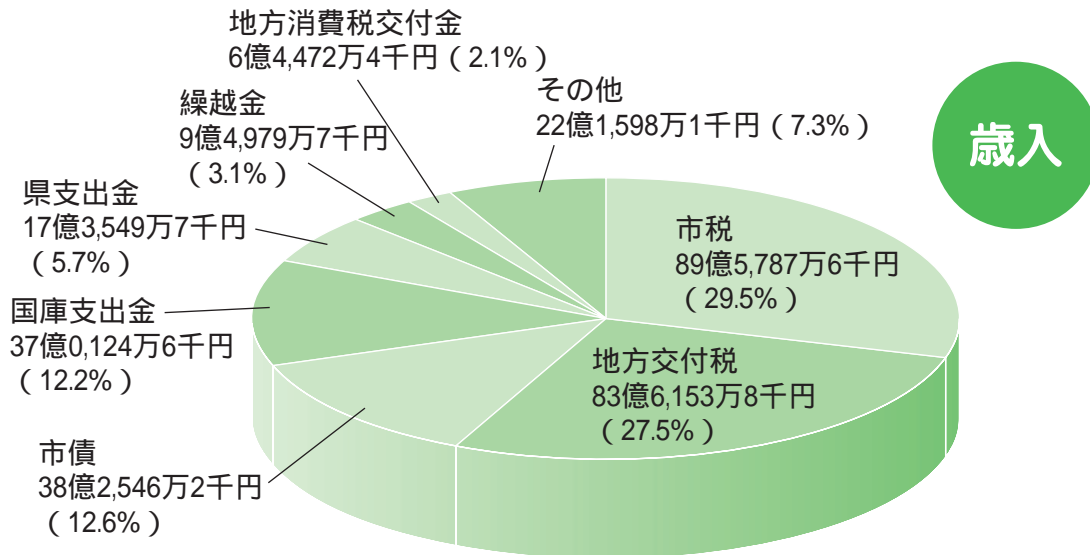
## 一般会計決算

**歳入** 303億9,212万1千円

**差引** 15億6,703万2千円

**歳出** 288億2,508万9千円

(内、翌年度への繰越財源を引いた)  
実質収支額は8億7,291万1千円



構成比は端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

## 市民1人あたりこのように使われました

● 民生費	1人あたり 116,456円	● 農林水産業費	1人あたり 22,738円
● 土木費	1人あたり 61,061円	● 消防費	1人あたり 15,180円
● 総務費	1人あたり 54,183円	● 諸支出金	1人あたり 14,793円
● 公債費	1人あたり 47,841円	● 商工費	1人あたり 4,611円
● 教育費	1人あたり 38,190円	● 議会費	1人あたり 2,953円
● 衛生費	1人あたり 27,208円	● 労働費	1人あたり 178円

# 平成21年度 特別会計の決算

(単位:千円)

国民健康保険会計		老人保健会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
国民健康保険税 23億0,108万3	保険給付費 51億5,537万1	国庫支出金 2,272万6	諸支出金 2,218万2
国庫支出金 24億2,404万9	後期高齢者支援金等 11億0,026万6	支払基金交付金 309万6	医療諸費 562万3
前期高齢者交付金10億4,983万2	共同事業拠出金 8億7,897万6	その他 199万6	総務費 1万2
共同事業交付金 9億3,849万3	介護納付金 4億4,666万6		
その他 14億9,861万9	その他 3億4,436万7		
総額 82億1,207万6	総額 79億2,564万6	総額 2,781万8	総額 2,781万7
介護保険会計		介護サービス会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
介護保険料 8億3,714万7	保険給付費 41億1,408万2	サービス収入 1,600万6	事業費 1,179万9
支払基金交付金 12億4,373万5	総務費 1億2,990万4	繰越金 265万7	総務費 559万0
国庫支出金 10億1,664万0	地域支援事業費 8,256万4		
繰入金 6億9,229万9	その他 1億0,393万6		
県支出金 6億1,744万0			
その他 6,790万3			
総額 44億7,516万4	総額 44億3,048万6	総額 1,866万3	総額 1,738万9
後期高齢者医療会計		公共下水道会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
後期高齢者医療保険料 3億9,202万6	後期高齢者医療広域連合納付金 10億4,911万2	使用料及び手数料 4億3,984万0	公債費 24億8,076万3
繰入金 6億9,855万4	総務費 3,078万2	繰入金 17億8,272万5	下水道事業費 11億2,746万4
その他 405万9	諸支出金 144万7	市債 11億8,200万0	総務費 1億3,504万0
		国庫支出金 2億0,889万1	
		その他 1億7,900万0	
総額 10億9,463万9	総額 10億8,134万1	総額 37億9,245万6	総額 37億4,326万7
農業集落排水会計		簡易水道会計	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
使用料及び手数料 952万3	公債費 6,530万9	使用料及び手数料 2億7,691万9	水道費 4億6,242万3
繰入金 6,641万1	農業集落排水事業費 746万2	繰入金 3億3,524万1	公債費 2億2,130万6
その他 350万0	総務費 40万6	繰越金 5,578万4	総務費 6,562万7
		その他 1億2,161万5	
総額 7,943万4	総額 7,317万7	総額 7億8,955万9	総額 7億4,935万6
水道事業会計(収益勘定)		水道事業会計(資本勘定)	
おもな歳入	おもな歳出	おもな歳入	おもな歳出
営業収益 7億6,240万7	営業費用 9億2,901万4	企業債 2億3,930万0	建設改良費 7億9,912万0
営業外収益 3億7,017万5	営業外費用 1億3,888万5	負担金 8,398万9	企業債償還金 2億2,213万3
特別利益 0	特別損失 1,355万8	出資金 3,690万2	
		国庫補助金 1,291万6	
総額 11億3,258万2	総額 10億8,145万7	総額 3億7,310万7	総額 10億2,125万3
温泉事業会計(収益勘定)		黒駒山外8財産区管理会計	
おもな歳入	おもな歳出	歳入	歳出
営業収益 6,351万0	営業費用 6,768万2		
営業外収益 43万1	営業外費用 156万9	総額 4,747万3	総額 435万5
総額 6,394万1	総額 6,925万1		

# 代表質問

9月定例議会では、6会派を代表して6人の議員が代表質問に立ち、21項目について市当局の考えをただしました。  
以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。

- 菅政クラブ 大久保俊雄議員 ...8
- 正鶴会 降矢好文議員...10
- 公明党 渡辺清美議員...10
- 正正会 風間好美議員...11
- 日本共産党 渡辺正秀議員...13
- 新和会 内藤武寛議員...14



## 菅政クラブ

大久保俊雄 議員

### 問 平成21年度決算・財政状況は

大久保俊雄議員 健全な自治体経営は、短期・中長期的なビジョンに基づいた財政運営が基本だ。平成21年度決算を受け、財政状況について伺う。

財政健全化法に基づき公表が義務付けられている4指標は、対前年比など分析結果は、

長期景気低迷下、各種税金・

料金の収納率と対前年比は、収納率向上に向けた取り組みは、  
決算にかかわる監査委員の指摘・審査意見に関し改善された点、課題として残った点は、  
本年度は第二次笛吹市行財政改革の初年度。どこにポイントを置き取り組むのか。

### 答 財政健全化に 継続的に取り組む

荻野正直市長 実質公債費比率は、昨年度より0・1ポイント増の13・6%。将来負担比率は、1・8ポイント減の109・6%。合併以来黒字決算のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率の2指標は算出されない。本市の指標は、早期健全化基準を大きく下回っているが、今後とも財政健全化の維持に努める。  
市税の現年分収納率は94・6%で前年対比0・2ポイント増、滞納繰越分は11・1%で0・2ポイント減  
国保税の現年分は88・6%で0・6ポイント増、滞納

繰越分は14・1%で0・5ポイント減。水道使用料は93・9%で0・1ポイント増。簡易水道料は97・6%で0・3ポイント減。収納率向上に向け、納税相談の充実、滞納処分強化をしっかりと行っていきたい。  
昨年4月からのコンビニ収納に続き、本年8月からキヤッシュカードを利用した口座振替の受け付けが、本庁舎で可能となった。  
事務事業評価の促進、市税及び料金等の向上、指定管理者制度の検証、公共施設の耐震化等8項目について指摘された。継続的取り組みによる成果、改善を期待しての指摘と認識している。  
小さな市役所の実現、健全な財政基盤の構築、計画的な行政経営の実現、市民第一主義の行政の各項のマネジメントを行い、進捗状況を検証する。

### 問 合併特例債 期限内の課題は

大久保議員 財政健全化とインフラ整備の整合性についての認識と、市民への

説明は。  
合併特例債の起債限度額、起債状況、今後の計画は。  
賛否両論がある中、多機能アリーナ、石和温泉駅周辺整備、バイオマスセンターなど大型プロジェクトの方向性は。

### 答 有利な特例債を 有効活用する

荻野市長 健全財政を維持すべき見地からも、必要とされる大型施設建設、インフラ整備は、合併特例債が利用できる平成26年度までに実施することが肝要と考えている。事業執行に当たり、各種メディアや地元説明会等を通じ、市民への説明を行う。

合併特例債の起債限度額は約387億円。平成21年度までに82億2千万円を借り入れ、平成22年度は前年繰越分を含め33億4千万円を予定。来年度以降、約177億円の借入を予定し、総額で約293億円を見込んでいます。

多機能アリーナについては、建設検討委員会の賛否両論





を併記した報告を受け、体育館機能を主目的とした施設の必要性を認識し、補正予算を上程した。石和温泉駅周辺整備事業は、国道までのアクセスについて実施設計を策定、移転建て替えが必要な石和第五保育所は基本設計を策定中で、駅舎はJR東日本と協議中。バイオマスセンターについては市クリーンセンター周辺を候補地に、平成26年度完成を目指す。

**問** 収益増につながる地域活性化策は

大久保議員 国の経済対策補助金を活用する今後の取り組みは。平成20・21年度の事業分析と下半期の具休策は。

夏祭りや各種イベントの総括と今後の課題は。

市長の国内外トップセールスによる、集客増への手ごたえは。

地域活性化に資する職員専門性を高める人材育成は。

**答** 国の経済対策を積極的に活用

荻野市長 国の地域活性化臨時交付金を活用し、両年度に総額27億円、84事業を実施した。市の基盤整備が進展しただけでなく、市内発注により地域経済回復の一助となったと考えている。下半期においても、国の動向を注視し、経済対策を積極的に活用できるように各部署で準備している。

石和温泉花火大会までの期間中、昨年より1万人増の約30万人のお客様が訪れた。今後は、新企画の実施、情報発信に一層努める。

PET検診や人間ドックを組み込んだツアーの提案に対する、各エージェンツ等の反応は大きかった。9月末と2月にも国内トップセールスを予定している。

産業に関する各団体と連携し、人づくりも含めた地域や産業の活性化を促進していく。

**問** 新学習指導要領完全実施の取り組みは

大久保議員 新学習指導要領実施まで、あと半年となったが、市の見解と具体的な取り組みを伺う。

学習評価等に関し、管理職のリーダーシップが求められる。具体的な取り組みは。新学習指導要領に基づく授業づくりの取り組みは。新学習指導要領に対応した指導案や教材準備等は。

**答** 学校現場と教委が連携し準備している

山田武人教育長 学習評価を通じた教育活動の改善を目指し、日ごろから指導している。本年2月、管理職・教務主任を対象とし、リーダー意識向上を目的とした講演会を実施した。

新指導要領の全面実施に向け、平成21年度から移行期間に入った。研究会への講師招へい、公開授業による成果の共有、外国語活動研修会開催、指導主事による改善指導等を行っている。新教科書・新指導資料は、

新指導要領に対応できるよう準備している。教材は各学校の特性にあわせて準備したい。理科の備品は全校で整備を終えた。

**問** 次世代育成支援対策の充実を

大久保議員 今年度から支援計画の後期の5年がスタートした。後期計画はどこにポイントを置くのか、総合計画との整合性は。

少子化を見越し、経済的負担を軽減するための、小児医療の充実と妊婦健診は喫緊の課題。具体策は。

**答** 23年度から小6まで医療費を無料化

荻野市長 後期計画の策定のため、市民ニーズ調査を実施した。地域における子育て支援、親と子の健康の確保と増進など7つの基本目標を設け、病児・病後児保育事業、学童保育クラブの充実、乳幼児健診の向上、乳幼児医療費助成の拡充等に重点を置く。総合計画の実現に向け、家庭、学校、地域等と協働し、安心して

産み育てられる環境づくりを目指し、子育て支援に取り組んでいく。

平成23年4月から、小学校6年生まで医療費無料化を拡大する。妊婦健診は14回まで拡充した公費助成を今後も継続していく。

**問** リニア実験線工事の諸対策は

大久保議員 現時点での工事の進捗状況は。

トンネル工事の影響で井戸・河川の湧水、減水が発生している。対策は講じられているのか。

**答** 恒久的対策など関係者との調整を

荻野市長 リニアの市内通過区間は、約13・2キロメートル。トンネル区間9キロメートルの内、6キロメートルは掘削が完了。高架橋等の区間は、全92基の内、17基の橋脚部分が完成。

鉄道運輸機構が給水タンクの設置、井戸掘削等の対策を地元と協議し対応している。市としても、恒久的対策など調整を図っていく。



## 正鶴会

降矢好文 議員

### 問 来年度予算編成の取り組みは

降矢好文議員 予算編成にあたって、行政評価を基本にした、施策別枠配分方式を導入するのか。

政策予算の検討の時期、メンバー、段取りは、来年度の予算と中期財政計画との整合性は、マネジメントサイクルに基づき予算執行とは、行政評価の周知方法と外部評価の取り組みは。

### 答 施策別枠配分方式の導入を検討

荻野市長 従来は部局枠配分方式を採用してきたが総合計画等と予算の連動が図られるメリットがある、施策別枠配分方式の導入を検討している。

9・10月、部局長以上で

目標としている。外部評価は今後の検討課題。

### 問 サッカー場建設は

降矢議員 石和町時代から期待されてきたサッカー場建設は、市長の掲げる施策のひとつだ。今後の見通しは

### 答 再考しなくてはならない状況

荻野市長 市サッカー協会からの建設の要望もあり、昨年、大型施設整備構想のひとつとして提示した。その後の情勢の変化により、現時点で具体的な方向性を示すことができる段階ではなく、再考しなくてはならない状況である。

### 問 砂原橋建設関連のアクセス道路は

降矢議員 砂原橋周辺の道路は狭小。砂原橋建設に伴い、主要幹線道路へのアクセス道路整備は欠かせない。今後の方針とスケジュールは

### 答 橋の位置が決まり次第、着手する

荻野市長 アクセス道路は

一般県道白井河原・八田線と藤袋・石和線を結ぶルートを考えている。橋と道路の幅員は、車道3メートルの2車線、歩道2・5メートル、路肩75センチで全幅10メートル。今月末までに橋の詳細設計を発注し、平成23年秋の着工を目指す。

### 答 クリーンセンター 周辺が候補地

荻野市長 建設費は国の補助制度を活用し、7億円から8億円、ランニングコストは年間5千万円から7千万円と見込んでいる。用地面積は2・5ヘクタール程度を想定している。資源の回収方法、肥料の販売方法単価等については、運営方法の決定と合わせて今後検討したい。5地区の候補地から、建設コストなど26項目について検討し、石和町砂原のクリーンセンター周辺を候補地に決定した。

### 問 バイオマス センター建設は

降矢議員 総事業費、用地面積、運営方式、資源の回収方法、生産される肥料の

## 公明党

渡辺清美 議員



### 問 妊婦健診への助成は

渡辺清美議員 妊婦の健康と経済的負担の軽減を

図るため、年14回の健康診査に公費助成されている。

平成23年度以降、国の財政措置が終了した場合も助成の継続が望ましい。市としての対応は。

### 答 平成23年度以降も市として継続する

荻野市長 平成19年1月に厚生労働省から妊婦健康診査の、公費負担の望ましいあり方について通知があり、健診回数は14回程度が望ましいとされ、地方財政措置による公費負担の回数は、それまでの2回から5回に拡充された。これを受け、市でも健診回数を5回に拡充した。その後、平成23年3月まで、14回の妊婦健康診査を受けられる国の財政措置が取られたため、市でも14回受診できるように、公費負担を拡充し実施してきた。現時点では、平成23年4月以降の国の対応は不明確だが、国・県の補助金の有無にかかわらず、妊婦および乳幼児の健康保持増進を図るため、市として14回の助成を継続していきたい。

### 問 ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種に助成を

渡辺議員 細菌性髄膜炎は日本で毎年1千人が感染し5%が死亡、約25%が脳に後遺症を残す。原因の6割がヒブ菌、2割が肺炎球菌で、症状は風邪と似ており、重症化する事例も多い。ワクチン接種が有効だが、任意接種の費用がかさむため接種率が低い。病気の原因となるヒブ菌は、咳やくしゃみで飛び散り感染を拡大する。保育園や幼稚園などの集団保育での感染が多く、ワクチン接種で感染拡大の抑制効果が高まる。両方のワクチン接種で乳幼児を病気から守る上で非常に重要だ。ワクチン接種費用の公費助成を強く望む。

### 答 平成23年度から半額助成を実施

荻野市長 ヒブワクチンの接種費用は1回約8千円、肺炎球菌ワクチンは約1万円、4回の接種が必要とされ、高額な接種費用の自己負担が接種率の低迷につながって

いる。来年度から、ヒブワクチンは4歳まで、小児用肺炎球菌ワクチンは6歳までの乳幼児を対象に接種費用の半額助成を実施したい。

### 問 改正育児・介護休業法への対応は

渡辺議員 公明党が強力に推進してきた改正育児・介護休業法が、6月30日に施行された。男女ともに子育てや介護をしながら、働き続ける社会を目指し、働き方の見直しや、父親の育児参加を後押しする内容で、少子高齢化や人口減少が進む中、仕事と出産、子育てと介護の両立支援は、大きな課題だ。

3歳までの子育て期間、労働者の希望に対し、事業主は短時間勤務制度の設置と残業免除が義務付けられた。介護休暇制度も創設され、介護対象1人の場合は年5日、2人の場合は10日まで休暇が取得できるようになった。育児休業の取得率の現状は、女性が85・6%に対し、男性はわずか1・72%と低い。日本人男性が子育てや家事

に費やす時間は非常に短く、先進国の中でも最低水準となっている。しかし、子育てのために育児休業制度や、短時間勤務制度の取得を希望する男性は3割を超える調査結果が出ている。子育てしやすい社会の実現や、男性の育児休業取得率向上のため、働き方に対する意識改革が必要だ。市の所見を伺う。

### 答 意識改革の必要性を痛感

荻野市長 少子高齢化が進む中、子育てや介護をしながら働き続けられる社会環境の法的整備が進んだ。市役所でも法律改正に対応し、一部規定を改訂したが、特に男性職員の育児休業取得はゼロの状況だ。制度を有効活用できるように、職場環境を整えるだけでなく、意識改革の必要性を痛感している。



## 正正会

風間好美 議員

### 問 税・料金等の旧町村ごとの滞納状況は

風間好美議員 市長は悪質滞納者の実名公表の検討を表明されたが、市長の毅然とした姿勢に敬意を表したい。現時点での、旧町村ごとの滞納状況の公表が、該当地

域の市民に納付を促すとして、大変有効な施策と思うが、以下伺いたい。  
滞納が顕著な項目の詳細は、旧町村ごとの滞納状況を伺う。  
滞納が多い地区の事情、



背景は。

不納欠損額が2億2、906万円と高額。原因は何か。

悪質滞納者の実名公表についての市長の見解は。

定期的に旧町村ごとの滞納状況を公表すべきだ。

### 答 全市的な見地で業務を遂行

荻野市長 市税、保育料

は地域別に滞納額の管理はしていない。水道料の地域別滞納状況は、石和は調定額6億2、300万円に対し滞納額1億7、500万円、御坂は1億8、700万円、対し2、300万円、八代は1億1、300万円に対し2、000万円、一宮は1億5、700万円に対し1、500万円、春日居は1億600万円に対し1、700万円、境川は4、500万円に対し200万円、芦川はほぼ滞納はない。

国保税は人口の多い地区順に滞納世帯が多い。人口移動の多い地域が、無届けの転出等で滞納割合も高い。固定資産税は石和地区など

事業用地が多い地域の滞納が多い。地域による相違よりも、経済的理由による滞納者が増加の傾向にある。

市税については、生活困窮所在不明等で執行停止、時効など地方税法の規定で消滅したもの、水道料は民法の規定で消滅時効となったものが主である。

実名公表は、悪質な滞納者に対する、毅然とした市の姿勢を示す有力な手段だと認識しているが、関係法令における守秘義務や判断基準などが今後の検討課題だ。個々の滞納者の状況を踏まえ、市全体で解消に取り組みなくてはならないと捉えている。地域ごとの把握はシステム構築に多額の費用を要すこともあり、考えていない。

### 問 本庁舎の耐震工事は

風間議員 建築基準法の改正により、昭和56年以降の建築物は、おおむね耐震基準を満たしていると言われているが、本庁舎は一部、

昭和42年建築の3階建ての

建物だ。早急に本庁舎の耐震工事を実施することが必要不可欠だが、市の考えを伺う。

耐震化の時期が、平成21年度マニフェストの当初計画より先送りされた理由は、平成19年度における南館耐震改修の財源と、本庁舎についての方針は。

本庁舎耐震改修の其本計画と予定事業費は。

南館が業務開始後、2年半経っても本庁舎耐震改修が未着工なのはなぜか。

### 答 財源確保の見通しができしだい着手

荻野市長 耐震化と合わせ、窓口ワンストップサービスに対応した施設改修を検討してきた。平成23年度以降財源確保の見通しが立ち次第着工したい。

南館耐震改修の財源は、合併特例債4億2、400万円、公共施設整備等基金繰入金9、500万円、一般財源600万円。この段階では、本庁舎の具体的な耐震計画はなかった。床面積3、043平方メ

ートル、耐震工事は北側の1、880平方メートル。屋上突起物の撤去、重量軽減、耐震壁・フレームの挿入等を行う方針である。仮庁舎も含め総事業費は約8億円。

南館4階の一部に、デジタル防災行政無線の基地局を整備中。残リスペースの利用と合わせて、本庁舎の防災拠点としての機能を検討している。

### 問 笛吹市に消防委員会の設置を

風間議員 市消防団としての公平性の確立、災害に対する効率的体制を実現するため、消防委員会の設置を強く要望する。

### 答 条件が整った段階で設置したい

荻野市長 安全への備えはまちづくりの基本で、市民のかけがえのない生命や財産にかかわる重要な使命と考え、地域防災力の充実強化を進めている。

本市消防団は、合併前の形態のまま移行されたため、団員数、消防車両、詰所施

設などに偏りがあり、各分団各部の組織平準化が未完成の状態だ。部の統合を進めることで、消防車両等の整備を効率的に進められ、課題である消防団員確保の一助にもなると考える。部の統合は行政区と深いかかわりがあり、消防団と行政区を中心に、十分協議を重ね、最良の方途を探っていただきたい。

諮問委員会の性格を有する消防委員会は、消防団組織の平準化が未完成で、審議や意見具申をいただくことが難しい状況であり、現在も未設置となっている。条件が整った段階で設置したい。





## 日本共産党

渡辺 正秀 議員

### 問 バイオマス堆肥化施設建設は

渡辺正秀議員 バイオマスセンター建設は、すでに用地選定作業が進む一方、事業構想等の情報が、ほとんど提供されていない現状だ。計画中のバイオマスセンターのうち、堆肥化施設について伺う。

何を何トン処理し、堆肥何トンを生産する計画か。また、建設費、ランニングコストは。

投入資材確保のめどは現在何トンか、そこから何トンの堆肥が生産でき、堆肥の需要は何トンほど見込むのか。

有機農業推進グループとの連携はどうか。

下水汚泥や剪定枝を堆肥化の主資材とすることは、費用対効果、バイオマス有

効利用の点で疑問だ。当局の考えは。

### 答 運営方針や技術水準を検討し決定

荻野市長 バイオマスセンター建設を主要施策に位置づけ、バイオマス賦存量の調査や事業の実行可能性の検討を行い、建設事業の基本的な考え方を集約した。今後、運営方針や技術水準を検討し決定していく。

事業化計画に基づき、生ごみ・剪定枝・汚泥は日量15トン規模で検討、製造される堆肥の量は年間1、800トン程度。この規模で想定する建設費は7〜8億円、ランニングコストは年間5〜7千万円を見込んでいる。

家庭系生ごみは収集運搬方法の検討を行っている。汚泥は市のクリーンセンターから排出されるほか、峡東流域下水道の汚泥の取り扱いも考慮している。下水道汚泥は、国が下水処理場のエネルギー源としての利活用を推進する方針で、処理単価が安価に推移しており、必要とする下水汚泥の供給が得られるか不明確で、当面クリーンセンター汚泥のみの活用を考えている。堆肥需要は、年間1、900トン程度の需要量を予測している。

有機農業グループと連携し、微生物資材を活用した実証実験を行っている。バイオマスセンター建設が、地域における資源の循環を推進し、製造堆肥が有機物の活用による、農業経営の確立に資するよう努めていく。

製造する堆肥は主資材を生ごみとし、副資材に剪定枝の利活用を考えている。生ごみからの堆肥は特殊肥料となり、汚泥を資材とするものは普通資材に区分されるため、2種類の製造を

検討している。

### 問 地方自治の原点に立つ 行財政改革の転換を

渡辺議員 7月13日の星野芳昭氏の行政評価研修では従来と違う視点と手法が示され、共感するところがあった。従来から市の行財政改革の視点と手法の転換を求めてきたが、官から民へという改革から、地方自治体の主体的な改革に転換することが必要だ。

第一次行財政改革大綱・集中改革プランの結果、人減らしだけは目標を超過達成し、納税率向上は低下した。公共施設の民営化で、年間の経費節減額は約6千万円。指定管理に出された施設経費の5%程度の削減率だ。ほとんどの施設で、指定管理制度導入でよくなったという声が聞かれない。

行財政改革自体に、どれだけの労力が投入されたか。費用対効果を含め、行革自体を評価・仕分けすべきだ。官から民、民から学べという改革を見直し、行政改革は地方自治の原則に基づき、

自治体自らの厳しい自己点検と反省に立ったものに転換すべきだ。

行政評価システムは自己点検だけでなく、二元代表制にのっとり、議会を軸にしたものを議会とともに作る考えはあるか。

### 答 「民」への業務委託等を積極的に検討

荻野市長 行政の総合性・機動性の向上を目的に、行政改革推進本部を平成16年に庁内に設置、以来21回の行政改革推進本部会議を行い、平成17年には公募の委員を含む行政改革推進委員16人を委嘱、大綱の策定に向け16回の行政改革推進委員会を開催した。

第一次行財政改革大綱・集中改革プラン2005の実施計画64項目の改革に取り組み、簡素で効率的な行政を推進してきた。特に集中的に取り組む改革として集中改革プラン2005の中で定員適正化計画の実施、市税の徴収強化、事務事業の再編整理、公共施設運営の見直しを掲げ、平成17年

度から5年間で18億2千万円の財政効果や、行政システムの本格的見直しを行った。これらの行財政改革は、日々の業務の中で不断に取り組むべき課題で、今後も強力に推進していく。

官から民へ、民から学べも自治体自らの厳しい自己点検も趣旨は相反していない。資本・資源の効率化かつ有効な活用を考えると、その経営手法は民から学ぶことは大きいものがある。行政は「民」でできないサービスを提供する機関だが、法令等に抵触しない範囲で優れた経営能力を持つ民に、業務委託・業務移管することとは、積極的に検討したいと考えている。

一三元代表制の特徴は、首長・議会がともに住民を代表するところにある。議会が地方自治体の運営の基本的な方針を議決し、さらにその執行を監視し、積極的な政策提案を行うことで、議会が政策形成の舞台となるのが、二元代表制のあり方と考える。市で取り組んでいる行政評価システムは、行政自ら

が市民の視点に立ち、点検・評価し、結果を企画立案、予算編成に活かすことで、政策の質的向上を図る行財政改革の一手法でもある。行政評価は経営サイクルのチエックの部分にあたり、



## 新和会

内藤武寛 議員

### 問 市の道路行政を聞く

内藤武寛議員 市総合計画の実施計画の中で、人が行き交う道路、交通ネットワークづくりを目標に、幹線道路網の整備が計画されている。

砂原橋架け替えは、八代増田地区にとつては悲願である。7月の砂原橋建設期成同盟会の席上で、事業推進すると説明があり、今回の補正にも調査費が計上された。今後の工程を伺う。市道御坂950号線（イエローハットからみさかの湯）

行政自らが取り組むべき経営手法の一つとして認識している。しかし、議会自らが予算・決算等の審議の過程で行政評価システムを導入する方法もあると考えている。

南側の畑総幹線1号の進捗状況と今後の工程は。

中央道スマートインター建設は、名称も笛吹インターと決まったと聞く。進捗状況、今後の取り組みは。

以上の3つの事業を効率的に結び付けることが、人の流れを促し、地域発展に欠かせないと思う。笛吹インターができた場合、東西方向は八代・甲府線で車の流れは吸収されるが、南北方向は中央道の側道があるのみで、交差点が多く道幅

が狭い。市道950号線・畑総幹線1号をインター予定地まで延伸する計画はあるか。また、砂原橋取り付け道路、境川方面とインターを結ぶ道路をどう考えているか。

### 答 スマートインター設置 早期事業化を図る

荻野市長 笛吹川における河川法の河川協議申請に対し、平成23年9月までに認可されるよう、準備を進めている。現在、砂原橋架け替えに伴う、年平均最大流量時の水位上昇の影響、河川護岸の浸食を解析している状況で、解析結果を基に適切な架け替えの位置・橋梁配置などの条件を決定する予定。今後の施工工程は、河川内の工事工程も河川協議内容の一部となっており、設計完了後、早期着手・早期完成を目指している。

国道20号成田交差点手前から、みさかの湯の南側市道御坂7号線までの延長約500m、車道幅員7m、歩道3mで計画している。平成21年度に用地調査が終了。

本年度、現地で説明会を実施した。関係者の協力をいただき、事業を進めていく。国道20号の交差点部分は平成25年度完成予定。

県営畑総事業笛吹川左岸地区幹線農道1号は、みさかの湯南側市道7号線から八代町北地内の県道・藤笠石和線まで総延長1、300mの整備を予定している。車道幅員は7m、片側に3mの歩道が付く幹線農道となる。平成23・24年度の2力年間で全線完成を目指している。

平成21年9月に「ネクスク中日本」と関係行政機関により、スマートインターチェンジの設置に向けた第1回目の勉強会を開催、本年6月の第2回目の勉強会で、接続位置を中央自動車道と主要地方道甲府・笛吹線が交差する付近とする方向で調整が図られた。今後は、地区協議会設置に向け実施計画書の素案作りに取り組み、実施計画書等を作成し、関係機関と調整し、早期事業化に向け取り組んでいく。道路網の整備は、市民の



日常生活の利便性を高め、市内外の来訪者を結びつける重要なネットワークとなるもので、今後とも効果的・効率的な道路整備に努めていきたい。市道950号線畑総幹線1号を中央道スマートインター予定地まで延伸する計画は、八代町北地内の県道・藤袋石和線までの整備を計画しているが、そこからの延伸ルートは、天川を越えなければならぬなどの課題がある。スマートインターの取り付け道路が検討中のため、今後の検討課題と考える。砂原橋取り付け道路、境川方面とスマートインターチェンジを結ぶ道路は、既存の道路の有効活用も視野に、スムーズな交通の流れに配慮した道路整備に努めたい。

**問** 境川ごみ処理場の進捗状況は

内藤議員 境川ごみ処理場の進捗状況と、八千蔵・高家地区、元ごみ処理場予定地の活用について、その後の進捗状況は。

**答** 平成27年度の供用開始を目指す

荻野市長 4市で構成する一部事務組合で、「ごみ処理広域化計画」「循環型社会形成推進地域計画」に基づき、事業実施に伴う地質調査・地下水調査・埋蔵文化財の試掘調査・猛禽類調査など必要とされる調査を行った。今後、専門家とヒアリングを行い、環境影響評価準備書に反映させていく。準備書の作成後、準備書の縦覧と都市計画案の公告が行われ、評価書の縦覧、都市計画決定の告示を行い、用地買収埋蔵文化財の調査等、すべての手続きが終了後、造成工事・建設工事に着手する。供用開始は平成27年度の予定だが、事業の進捗状況によつては、変更となることも考えられる。

八千蔵・高家地域の活用方法と進捗状況は、笛吹・甲府・山梨・甲州市の4市の首長で組織する、八千蔵地域等対策協議会で協議を重ねている。昨年11月の協議会で八千蔵・高家地域の

土地活用方法は、1つの市が運営する施設への他市の財政負担は、議会や市民に説明が難しいこと、本市が提案したバイオマスの堆肥化施設は共通利用施設として難しいことが確認され、4市で共通利用できる施設を整備し、広域的な利活用を目指すことにした。その後、地域への報告会を開催し進捗状況の説明も行った。4市の関係職員で構成する幹事会を開催するなどし、整備活用方法の検討や情報交換・情報収集に努めているが、現段階で活用方法が見出せていない状況だ。

八千蔵・高家地域の利活用は、境川地内の甲府峡東地域ごみ処理施設の進捗状況と並行し進める必要があり、今後、関係市と精力的に協議し、行政責任を果たす努力をしていきたい。

**問** 高齢者の見守り地域ケア体制整備は

内藤議員 住み慣れた自宅や地域で、高齢者が安心して暮らすために、安否確認、緊急時の対応、生活相談、

配食サービスなど多様な見守りサービスを提供する必要がある。市のサービスはどのように行われるのか。また、救急医療情報キットの早期実現の考えはあるか。地域ケア体制の整備は、高齢者の生活を支える医療・介護・福祉など総合的な体制整備を行う必要がある。市の地域包括ケア体制整備の取り組みは。

**答** 救急医療情報キット 平成23年度から実施

荻野市長 介護保険サービスには、在宅生活で介護や家事援助を行う「訪問介護サービス」や、看護師などが療養上の世話を行う「訪問看護サービス」などがある。市単独で行っている福祉サービスには、一人暮らし高齢者等の緊急時に消防署へつながる「緊急通報システム」、乳酸菌飲料の配達を行いながら安否確認を行う「一人暮らし高齢者見守り事業」、食事の確保が困難な高齢者に対して直接手渡しを行う「配食サービス」などがあり、要介護状態とならないように、

虚弱な特定高齢者を対象とした「筋力向上事業」等の実施や、地域の一般高齢者対象の「やってみるじゃん介護予防事業」等を実施している。これらの具体的な事業のほか、地域包括支援センターに専門職員を配置し、対応を行っている。

救急医療情報キットは、高齢者の緊急時の医療情報を冷蔵庫に保管し、救急搬送時の貴重な情報となるもので、一人暮らし高齢者世帯の情報把握や、導入後のキット内の情報の更新等を含め、具体的協議をさらに詰め、来年度から実施していきたい。

国の「市町村地域包括ケア推進事業」による補助事業の採択を受け、具体的な取り組みを始めた。

本年度は、介護保険事業者や医療機関等の情報収集を進め、峡東圏域の各市とも広域的な連携体制を整え、高齢者のリハビリ支援の仕組みも、市内医療機関に委託を行い、新たな仕組みづくりを構築し実証していきたい。

市民の声

9月  
定例議会

## 一般質問

9月定例議会では、7人の議員が一般質問に立ち、12項目について市の考えをたえました。以下は質問と答弁を要約したものです。

網倉正治議員	.....16
野澤今朝幸議員	.....17
北嶋恒男議員	.....18
亀山和子議員	.....19
志村直毅議員	.....20
中川秀哉議員	.....21
新田治江議員	.....22

**問** 市民と行政の協働のまちづくり推進の取り組みは

**答** トータル的な市民活動支援で事業推進



網倉正治議員  
( 笛政クラブ )

網倉正治議員 市では市民活動団体や、行政区の地域を活性化するために行う事業を立ち上げ、事業者・団体・行政区に助成金を交付し、支援を行ってきた。今までの取り組み成果と、今後の事業推進目標は。

が進む中で人口減少もみられるが、一方、合併後も人口増加が続いている地域も存在する。人口増加と反比例し、区の運営や防災・福祉等に課題が生じている。今後とも人口増加が予想される区に対し、行政の強い支援策としての体制を整備する考えはあるか。

高年齢者の所在不明、児童虐待等相次いでいるが、環境の変化に対応した地域力創造と、地域コミュニケーションを考えた施策として、政

策担当者会議等で積極的に取り組む考えは。

まちづくり事業資金の原資はどのくらいか。また、残りの資金をどう有効に活用するの。

梶原清総務部長 市は総合計画において「市民の主体的な活動を支える仕組みづくり」「市民と行政のパートナーシップづくり」を掲げ、市民活動支援課を設置し、合併特例債などによる地域振興基金の運用益を活用した、地域振興促進助成事業に取り組んでいる。

今年度も14団体に413万円の助成金を交付し、広報やホームページ、よつちやばるネット笛吹などで、内容や成果を市民にお知らせしている。よつちやばるネット笛吹は、現在41団体が登録し、市民活動や地域づくりを活性化するためのツールとして活用されている。また、地域づくりをモデルとした市民ワークショップの開催や、市民活動支援講座など、トータル的な市民活動支援の仕組みとして事業推進を図り、協働のまちづくりを推進していきたい。現状でも人口増加区に限らず、区民と市職員が一体となつて、行政区の運営が展開されている。職員には地域で行われる活動に積極的に参加・協力を呼び掛けている。「地域主権」の流れが加速すると、自治区の役割も今以上に重要になり、先進的な市町村では、自治区の企画・立案等に、補助役及び助言を担当する職員を配置する動きもある。市民協働のまちづくりのため、本市に適合した方法を検討していきたい。

行政区は132区と非常に多いが、先進市町村の事例を参考に、研究を重ねながら検討したい。

**問** 地デジ移行の取り組みは

加藤寿一市民環境部長  
合併特例債の積立金等を原資に運用しており、21年度決算で48億円が積み立ててある。運用益は、スポーツ振興や観光宣伝等にも利用し、基金への積み立てもしている。

網倉議員 アナログ放送終了まであと1年、地上デジタル放送への対応が遅れ、テレビが見られないと予想される低所得者層や、生活保護世帯、独居高齢者世帯などへの対応を問う。

市内の地上デジタル放送の普及進捗率は、低所得者や生活保護世帯、独居高齢者世帯への対応は、今後の地デジ化推進への周知は。

小中学校、保育園など、市が管理する公共施設での地デジ対応は。

**答** スムーズな地デジ移行に努める

池田聖仁経営政策部長  
県内の地デジ世帯普及率は、3月の調査で75・3%と、



▶ 全国平均83・8%に比較し遅れている。市の世帯普及率は、聞き取り調査によると、県平均より若干上回る。

総務省の地デジチューナー支援実施センターが、生活保護や障がい者がいる世帯の市民税非課税世帯で、NHK受信料全額減免世帯を対象に、地デジチューナーを無償で提供している。市では民生委員を通じ、各

地域への周知を行っている。高齢者はこの支援制度の対象外だが、「山梨県テレビ受信者支援センター」が、地域の高齢者から個別相談や電話相談の希望を受け説明対応している。

笛吹きらめきテレビで、地デジ対応の視聴可能機器の紹介しており、改めてCATVなどの自主放送番組内でも、告知の働きかけをしていく。市では、周知広報活動、地方公共団体施設のデジタル化、アナログテレビの適正廃棄・リサイクルへの協力など、地方公共団体としての立場で助言・提案し、地デジ放送への移行がスムーズに行えるよう

努めていきたい。

公共施設の94テレビに対し、11テレビが地デジ対応済みで、

残り83テレビについても、来年6月までに予算化・対応したい。

### 問

政務調査費での視察研修に職員随行は許されるか

### 答

政務調査研修でなく別公務の研修



野澤今朝幸議員  
(無党派)

野澤今朝幸議員 政務調査費でのパイオマス視察研修に職員が随行したことは違法と考えられる。

法律では、政務調査費での視察研修は、公務と認められないのではないかと。そうであるなら、当然職員の随行も認められないことになる。

政務調査費での参加議員にかかわる職員の視察研修費の部分は、不正支出ではないのか。

梶原総務部長 本パイオ

担である。

多機能アリーナは必要か

### 問

野澤議員 逼迫する市財政で総事業費50億円、年間維持管理費1億円ともいわれる多機能アリーナは、市民にとって本当に必要か。

市長はこの事業に政治生命をかける決意があるか。

全市的一体感の醸成を目的にしているが、これほど莫大な金をかけなければならぬ行政課題か。また、この目的達成の他の方法は検討したのか。

多くの市民の反対にもかかわらず、建設を進めなければならぬ理由は。

### 答

市の発展・まちづくりに必要な施設

池田経営政策部長 多くの市民が集える施設として「新

市建設計画」「新笛吹市基本計画」「第一次笛吹市総合計画」「笛吹市都市計画マスタープラン」等、笛吹市建設の柱となる各長期計画で、検討の必要性が掲げられている。これらの施設

整備に多くの要望もいただいており、これらを踏まえスケールメリットを活かした施設整備の必要性を強く感じており、本構想を提示した。一般論として、首長はまちづくりの方向性を示し、住民の信託によりその責にあり、推進するすべての事業に、政治生命を賭す覚悟で臨んでいるものと解している。

一体感の醸成は必要不可欠であり、重要課題と認識している。本構想も、既存体育施設の飽和状態の解消や全市域対象のスポーツ大会やイベント開催で、一体感の醸成を目的の一つとしており、スポーツの振興・健康・交流といった複数の相乗効果をもち合わせ、更には、未来を託す子どもたちが誇りを持てる施設と位置付けている。

基本的な構想段階から、市民ミーティングや市民アンケートを実施し、多くの意見をいただいた。地域審議会や区長会など、多くの関係団体で構成される「多目的施設建設検討委員会」

で協議していただき、両論併記で市議会とともに、市行政に判断をゆだねていた

だいた。長期的な本市の発展やまちづくりにも、本施設整備が必要と判断した。

## 問 新しい石和温泉駅舎建設は ユニバーサルデザイン構想で

### 答 多方面より意見を聞き 設計に反映する



北嶋恒男議員  
(正鶴会)

北嶋恒男議員 石和温泉駅舎建設設計は、全ての人々が利用しやすいユニバーサルデザインやバリアフリーの観点で行われると思うが、業者任せでなく障がい者(当事者)の声を、最初の設計の段階から取り入れる形で進めてほしい。障がい者団体からは、今までの失敗事例を体験しているので、十分時間をかけた利便性重視のモデル駅となるよう、要望されている。今後、JR東日本と連携していくなかで

どう取り組むのか。

新しい駅舎が完成すれば、高齢者・障がい者の利用客は増えると思うが、ちなみに現在の石和温泉の宿泊施設では車いすトイレや、バリアフリー対応温泉施設の完備率はどのくらいか。

佐藤貞雄建設部長

石和

温泉駅は1日の利用者が5千人以上のため、駅を特定施設と位置づけ、その周辺を重点地区とした経緯がある。駅前を整備されている土地区画整理事業も、勾配の広い歩道や視覚障がい者誘導ブロックの設置が進められてきた。

石和温泉駅周辺整備事業では、駅構内のバリアフリー化、視覚障がい者用ブ

ックによる連続した誘導システムの整備、改札口とホームを結ぶエレベーターの設置、身体障がい者対応型トイレの配置・位置等を考慮し、移動等を円滑にする施設整備を行っていきたい。JRの基本設計・実施設計の段階から連携を密に、ユニバーサルデザインの基本的考え方をコンセプトに進め、多方面より意見を聞き、移動等円滑化の目標達成に向け可能な限り設計に反映していきたい。

豊角産業観光部長

旅館

等の障がい者用トイレの設置状況は、組合加盟店34施設のうち、9施設・26%に設置されている。障がい者の専用パーキングスペース、車いす用のスロープ等は、高い割合で整備されている。市内の公共施設や大型スーパー、金融機関等の障がい者用トイレ・スロープ等が一目で分かる施設関係のマップもある。

## 問

県内外から新規就農者を増やす方策は

北嶋議員 農家の高齢化、

担い手不足で年々遊休農地が広がっていく。行政の支援を検討されたい。

一定規模の圃場整備、区画整理など総合的に行うため農家の合意形成が得られやすいよう、地元はどう啓発と支援を行っているか。また、今後の取り組みは。

まずは観光的な導入でファンを増やし、徐々に農業に取り組む人を増やすことも肝要だ。体験農業、貸農園などを増やす受け皿づくりとして、農業研修施設、簡易宿泊施設、指導員の拡大やボランティアサポートなど、市の施策の中での取り組みを。

地域で農業に取り組む人を増やす研究会を、議会も含め行政主導で組織を立ち上げてほしい。

## 答

新規就農者農業後継者支援事業をスタート

豊角産業観光部長

県営事業

の圃場整備(区画整理)は一定の団地整備が必要で、要望地区の換地委員を中心に取り組んでおり、市では説明会等に積極的に助言・

協力し推進している。

新規地区要望は、23年度採択に向け調査を終了し、計画業務委託に入る黒駒西地区と24年度採択要望の境川藤袋地区も、実施に向けた取り組みが行われている。

農業後継者の育成は非常に重要な課題で、市内3カ所に市民農園を開設し、利用していただいている。小学生対象の「都市と農村の交流事業」も、芦川地区で実施し、農業の楽しさを味わってもらっている。農業技術の習得には、昨年「笛吹市援農支援センター」を設立した。桃・ぶどうなどの剪定や摘果・袋かけの講習会の開催など、今後もなお一層の講習会の充実を図っていきたい。さらに、農業後継者の育成・定着を目的に、本年から「新規就農者農業後継者支援事業」をスタートさせ、27人が認定されている。また、県の「就農定着支援事業」においても、市が積極的にアグリマスタの斡旋や研修生の推薦を行い、市内で9人の新規就農研修生が認定され、果樹

栽培の研修等を行っている。新規就農者の営農相談や経営指導は、「笛吹市担い手協議会」を核に、県普及所の職員の指導や、研修希望者に受け入れ可能な農業法人の紹介などを行っている。

各地区に農業者会議など

## 問

特例債事業は市民の暮らし・福祉・教育最優先で

## 答

中長期財政推計を策定し  
着実に行財政改革を推進



亀山和子議員  
(日本共産党)

亀山和子議員 多目的ホール建設に対し、市民アンケートでは6割が反対の意思を示した。反対の主な理由は、将来の財政に対する不安があげられ、市の財政計画では心配を払拭できる見通しとなっていない。特に地方交付税の合併算定替えの特別が終了する平成32年度以

の組織が活動している。農業振興の会議は市・農業委員・農協などととも、議会の建設経済常任委員も加わっていた。農業者の意見交換会を定期的に開催している。

降に、大変厳しい予測をしている。市民の安心を支えることが重要で、多目的施設の建設は多くの市民にとって、差し迫った優先的な課題であると言いたい。そこで、次のことを伺う。

特養ホームの建設を要望する。特養ホームで、現在の待機者は565人。施設によっては待機100番目とか、待機5、6年は当たり前で、入所はほとんど絶望的という状況となっている。待機者解消の責務は市にもあるはずで、特養ホームの

新設しかない。また、福祉施設の建設は、そこに働く人の雇用を生み出し、施設の運営関連費用など地域経済への波及も大きいと考え、市の見解を伺う。

待機者565人の解消の見通し、めどはあるのか。

特養ホーム待機者の実態調査をする考えはあるか。

石和中学校の建て替えと同時に、マンモス校解消のための分離分割を要望する。石和中は現在24学級・生徒数744人で、県内公立中学校90校の中でも、一番の大規模校となっている。マンモス校解消のために分離・分割が望ましいが、市の見解を聞きたい。

石和中のマンモス校の状態をどう認識しているのか。教育効果、学習効果、人間関係、生活環境や学校運営等どのような困難や弊害があるのか。

池田経営政策部長 普通交付税は、平成33年度に一本算定化され、今年度より27億円程度減額される見込みである。

10年先の社会経済情勢を見通すことは困難だが、現行制度に基づき、10年先までの各年度の歳入・歳出を適格に算定し、中長期財政推計を策定している。行財政改革の着実な推進により、10年後も歳入・歳出の均衡の取れた健全な財政運営が維持できるものと考えている。

介護保険制度がスタートし10年が経過した。現在、特別養護老人ホームは、県内に地域密着型施設を含め63施設、定員は3、734人、市内には3施設、定員は274人となっている。定員29人以下の小規模な特別養護老人ホームは、市町村の介護保険事業計画の中で設置が可能となり、平成21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画で、本年度、定員18人の認知症対応型グループホームの整備が進められている。また、23年度に小規模特別養護老人ホームを1カ所設置することで、事業者を募集している。

なお、小規模特別養護老人ホームでの職員配置の人

員基準は、入所者3人に対し介護職員1人という基準で1施設で約10人の雇用が生まれることになる。

中川啓次保健福祉部長

待機者の数が増えている状況で、一度に解消することは困難だが、次期介護保険事業計画の中で、施設の設置を検討していきたい。

河野修福祉事務所長

565人の待機者のうち在宅が293人、あとは施設に入っている方が大半だ。待機者調査は今後も機会をとらえて行っていきたい。

仲澤和朗教育部長

石和中学校は築36年が経過し、耐震化、大規模改修を経て現在に至っている。パツテリー型という特殊構造であり、給食棟も構造上の課題を抱えている。市内の小中学校は、昭和40年代から50年代に建設され、築30年を超える校舎が大半で、今後、石和中の校舎・給食棟を含め、必要な学校施設整備に、さまざまな角度から調査・検討していく必要がある。22年度の見込み調査から、将来的な生徒数の予測は、26年

度の815名という生徒数  
がピークと見られ、その後  
の28年度には780人弱の  
生徒数と推測されている。  
ゆつたりとしたスペースで  
教育を受けるといふ充実し  
た環境の整備を図るため、  
マンモス化の解消は必要で  
今後、学区境の地域の実情  
をふまえ、慎重に調整しな  
がら、通学区の弾力的な  
運用と共に検討していきたい。

**山田教育長** 学校の適正  
規模は2学級以上、中学校  
で6学級以上、20人以上の  
クラス替えのできる範囲が  
望ましく、8学級くらいま  
では許容範囲に入っている。  
大きい学校、小さい学校そ  
れぞれのメリット・デメリ  
ットがあるが、教育委員会  
としては、石和中はマンモ  
ス校だが許容範囲内と考  
えている。

## 問 地域の魅力を資源とした 「ツーリズム」の対応は

答 観光資源の掘り起こしが  
必要不可欠



志村直毅議員  
( 笛政クラブ )

志村直毅議員 暮らしたく  
なる旅の地、笛吹桃源郷を  
目指し、7つの基本の方針  
を定め、本年3月に策定さ  
れた笛吹市観光振興ビジョン。  
これに基づき具体的な観光

振興アクションプラン策定  
に着手したが、全国の観光  
地では、観光振興に創意工  
夫を凝らし、周遊見物、団  
体ツアー、集客イベント開  
催などの従来のあり方から  
滞在、個人向け、交流、体  
験などのメニューで生き残  
りに知恵を絞っている。  
近年、着地型の企画提案  
による地域の魅力を特色に  
各種のツーリズムが活発に

行われている。最近のツー  
リズムを総称してニューツ  
ーリズムとも言いが、商品  
企画として消費者ニーズの  
多様化にあわせ、多品質少  
量の品揃えといった状況に  
ある。観光ニーズの多様化や  
多嗜好化に対応し、小規模  
でも特徴・特色あるツーリ  
ズム事業を強化することは  
大規模な集客が可能な笛吹  
市でも、必要かつ重要な取  
り組みと考える。市の観光  
メニューの充実を図るため  
の対策は。

着地型観光といわれて久  
しいが、従来型の周遊観光  
や発地型のツアーと着地型  
観光の違い、必要性につい  
て市の考え方は。

旅行者のニーズを調査・  
分析し、ニーズを開拓する  
ような魅力の創出や価格設定  
商品開発・効果的なプロモ  
ーション等の認識に立つこ  
とが必要だ。また、企画・  
提案には「利用者の視点」  
と「地域を熟知し活かせる  
人材」の2つが重要である。  
民間事業者はマーケティング  
を十分に行い、商品開発  
に活かしており、「参加・

体験・共感型」の観光地へ  
の变革が必要との認識に立  
つ必要がある。市も具体的  
な取り組みをしているか伺う。  
**豊角産業観光部長** 現在、  
観光振興アクションプラン  
策定にとりかかっている。  
ビジョンに示す基本的方針  
7つの1つに、百人百葉の  
笛吹体験づくりがあり、笛  
吹を楽しむ100のプラン  
提案を掲げている。このコ  
ンセプトは1日に何万人も  
の集客を行うより、日々、  
小規模で現地でしか体験・  
体感できないイベントを行  
うことで、集客数・宿泊数  
を伸ばす手法である。

中心に「ぶどうEXPO」  
と銘打ち、市内の観光資源  
の掘り起こしを行い、旧地  
域間のイベントを結びつけ  
集客を促す事業を9月1日  
から11月3日まで展開して  
いる。また、海外トップセ  
ールスではメディアカルツー  
リズムと称し、中国のピザ  
緩和で増加する海外観光客  
や富裕層をターゲットに、  
日本の最先端の高度医療で  
あるPET検診や人間ドッ  
クを受診できるプランを、  
旅行エージェンツに宣伝し、  
ツアーの企画・立案を依頼  
した。

旅行形態は時代のニーズ  
や移り変わりにより、常に  
変化している。今までの旅  
行はすべての場所や日程・  
コースを、あらかじめ設置  
する発地型形態が主流で、  
最近では旅行形態が団体か  
ら個人や家族となり、旅行  
先に入ってからオプション  
的な体験型・滞在型・学習  
型観光が人気となっている。  
市には温泉・果実・歴史と  
いった地域を代表する資源  
が豊富にあることから、そ  
れらの資材を有効的に観光

に結び付けることが急務と考えている。

国内外でのトップセールスや、多くのエージェンツとの意見交換・旅行商品の発表会等に、観光物産連盟や各種観光団体と連携を密にし、積極的に出席している。市内に温泉・果実・歴史などの資源が豊富にある。自然や山・清流等の素材や要素をつなぎ、魅力ある観光地として物語を発展させ、観光客に発信していきたい。

### 問 多機能アリーナ構想 事業の考え方は

志村議員 合併特例債を活用した多目的施設建設事業は、多機能アリーナとして構想が示され、建設予定地案も示された。市民ミーティングやアンケート調査、建設検討委員会などの議論を経て調査費も提案されている。市民の関心も高く、スポーツ振興の拠点と考えられる多機能アリーナ構想は、大型集客施設として地域振興への期待がある。一方、財政状況や他施策への影響を心配する声もある。大型整

備事業とともに多機能アリーナを建設していきたいという考え方について伺う。

厳しい財政運営となる予想や、整備の有無による影響や効果はどう考えているか。公共施設の将来の維持管理・運営など、計画的な利用のためにトータルコストも明らかにした「公共施設白書」を作成し、方向性を検討してはどうか。

長期財政推計が示されているが、税収減、不納欠損の増加など懸念されるのではないか。

### 答 新たな行政課題と位置づけている

池田経営政策部長 今回の構想は、本市で目指す行政経営の理念である、市民との協働に基づき基本的な考え方や目的を示し、可否も含め多くの市民のご意見をいただき練り上げてきた。今後も、建設委員会等で協議いただき進めていきたい。当初は、多目的ホールおよび多目的施設としていたが、多目的施設建設検討委員会でも、施設目的をある程度

限定する必要がある、既存の体育館が慢性的な飽和状態にあるなどのご意見をいただき、体育館機能に軸足を置いた多機能アリーナ構想として示した。地域経営の視点に立った必要な施設として、新たな行政課題のひとつと位置づけている。

すでに本市では、学校教育ビジョン、観光振興ビジョンを策定し、人づくり、地域経済の活性化のため、各種施策に取り組んでいるが、さらに健康をキーワードとした市民の健康づくりプロジェクトの取り組みを始めた。この多機能アリーナ構想は人づくり、健康づくり、交流づくりの拠点施設として、現世代ばかりでなく、笛吹市の未来を担う、これからの世代のための財産としても考えている。

合併特例期間が終了すると、交付税の減額で歳入財政規模は徐々に縮小されるが、現行制度に基づき、常に毎年10年間の財政推計を行い、各年度の歳入歳出を適格に算定した上で、財政計画を策定していく。

財政運営が厳しくなるという認識は持っていない。スケールメリットを活かし、施設、財政面での検討を踏まえ、整備することが有効だと考えている。

公共施設の価値創造のため

### 問 参議院選挙の総括を伺う

### 答 適正な期日前投票を 県選管と協議する



中川秀哉議員 (公明党)

中川秀哉議員 昨年8月の衆議院選挙から、市内投票所40力所が29力所に縮小し、2度目の国政選挙を経た。御坂・八代・境川・春日居地区の投票所の数が統一されたが、こういった段階を経た動向を含めた参議院選挙の投票所の総括について、市当局の見解を伺う。

期日前投票は、全国では本庁での開始時期と同じか、め有効的な利活用を検討し、取りまとめ公表したい。長期財政推計は毎年見直しを行う。税負担の公平性の観点から、不納欠損については大きな課題と認識している。

投票日の8日前から開始している自治体もある。今後の投票率向上を目指し、期日前投票の開始時期を早めることも必要だ。

今回の参議院選挙で、期日前投票でさまざまな苦情があつた。宣誓書の記入を簡略化できないかという声が多く、全国の先進自治体では、投票率向上の一環として、投票所入場券の裏面に宣誓書を印刷し、自宅事前に記入し簡素化を図る取り組みが実施されている。次回選挙から利用できないか。

今回の選挙で、期日前投票の用紙の誤交付や、県内

の知的障がい者授産施設・特別養護老人ホーム等で、不正な行為が明らかになった。市内施設が関係していることをふまえ、不正防止の早急な対策を求める。

東京都足立区では選挙を身近に感じてもらうために2007年から新成人や20歳代の方々から投票立会人を募集しており、貴重な体験になると高評価だという。笛吹市も若い世代の投票率向上のために取り入れては、各市選挙管理委員会では投票を済ませた方の申し出により、投票済証明書を発行すると聞いた。全国では投票済証明書を提示すれば、商店や宿泊など割引特典があり、投票率向上に取り組んでいる。笛吹市でも、期間限定の市営温泉施設や市営バスの割引など創意工夫で行政サービスを取り入れるべきと考えるがどうか。

**梶原総務部長** 投票所を縮小し、2度目の国政選挙だったが、投票率は前回の参議院選挙59・39%に対し、今回は59・88%とわずかに伸びを示し、投票区の縮小

による影響はなかったと認識している。前回より開票時間が遅れたが、少人数で短時間の開票は、行政改革の一環で、より早い開票結果の公表は、市民サービスにつながるものと考えられる。

今後継続して開票事務の効率化に取り組んでいきたい。期日前投票の開始時期は本庁1カ所、支所6カ所で運営し、投票時間は本庁は公示翌日から投票日前日まで、支所は投票日8日前から投票日前日に対応している。

投票者数は、前回より1、471人増加し、対前回比約21・8%の伸びを示している。今後も、基本的な期日前投票所設置の変更は考えていないが、本庁投票所の有効利用を周知し、投票率アップに努めていきたい。期日前投票の宣誓書は、今後、先進地の事例を研究し、有権者の利便性を考慮して簡素化できるよう検討していきたい。

誤交付・不正防止の対応は、事務打ち合せ会を始め、ことあるごとに誤交付防止徹底の周知を実施しており、

本市での誤交付はなかった。また、施設等の不在者投票にかかると不正行為は、モラルの問題と認識しているが、適正な不在者投票に向け、選挙管理委員会等と協議をしていきたい。

**芦澤栄総務課長** 啓発活動については、過去には成人式でチラシや物品配布などを行った例がある。ご提案の立会人への登用については、公募などの方法も考えながら検討していきたい。

今回の参議院選挙でも、30件ほどの証明書交付実績がある。この証明書は公職選挙法上の規定はないが、投票率向上と併せ実現可能かどうか、関係機関と協議しながら検討したい。

**問** (仮称) 笛吹市リユース・リサイクルプラザの早期導入を

中川議員 全国の先進自治体ではリサイクルプラザ、リサイクル広場、リサイクルセンターなどの名称で、使用可能な家具などを修理・再生し、販売している。ごみ減量やエコ活動の一環と

して、市内で発生するまだ使える家具や自転車など、有効利用できるものを仮称・笛吹市リユース・リサイクルプラザの導入を含め、検討できないか。

**答** リサイクルセンターで導入を検討する

加藤市民環境部長 資源有効活用の観点から、最後まで使うリユースの実践は、循環型社会実現を目指す上で大変重要なことだ。資源ごみや粗大ごみのリサイクル処理を行い、ごみ減量化・不用品の修理・交換等、リサイクルに関する啓発と環

**問** 下水道加入の促進を

**答** 融資制度活用で

接続をお願いしたい



新田治江議員  
( 正 会 )

新田治江議員 下水道工事本来の役割は、美しい自然環境を保ち、快適な生活を営むためのものだ。22年度マニフェストに普及率59%、水洗化率75%とあるが、現在の不況で、自分の家に管



が敷設してありながら、宅内配管工事費が多額で、加入できない家庭がある。加入促進を図るため、以下伺う。現在の貸付金のみでなく、市が一定期間を定め、補助金を交付することができないか。

補助金を出すことで不公平がないよう、既加入者の下水道料金の減額を図る措置等調整ができないか。

河川に合併浄化槽から流すと臭いがしたり、川の中に藻が増えたりする。合併浄化槽の管理・指導は、業者を入れ管理するよう充実できているか。条例で指導できているか。

市民アンケートの中で、接続できない理由はなにか下水を敷設しても加入していない件数は。また、未加入者が入った場合、1カ月平均でどのくらい使い、1年間の収入はいくらになるか。下水道の推進で、河川の汚染状況はどうなっているか。主に河川、また町別の状況は。下水道は莫大な事業費がかかるが、結局は市民の税金だ。全戸加入でないと思

味が無いが、加入したくてもこの不況下ではとても無理だ。市民が加入できるような施策や、期間を定めて補助金を出すことで、加入率100%を目指す必要がある。下水道は文化のバロメーターであり、さすが観光のまち笛吹市と全国ニュースとなるよう、市長の見解を伺いたい。

**竹越富男公営企業部長** 工事施工前の住民説明会で、接続のお願いや融資斡旋制度の説明、施工後も職員が接続のお願いをしている。

平成22年度は8月末現在で172件・月平均33件の接続である。普及率は現在58・2%で、水洗化率も8月末現在、78・4%と順調に伸びている。

水洗便所等改造融資斡旋制度を設け、最大50万円の融資を斡旋、利子を市が負担し、今年度より市外の人でも連帯保証人になれるよう改正した。御坂町で実施していた宅内排水設備補助金交付制度は、受益者負担金が今年4月に統一され、23年度で廃止が決定してい

るが、宅内工事に伴う補助金交付は、現在の下水道会計の財政状況では、財源確保や公平性の観点からも困難だ。現在の融資斡旋制度を有効に使っていただくよう、広報等で情報発信していきたい。

下水道料金は厳しい財政状況の中で、下水道の維持管理に充てる重要な財源だ。老朽化による修繕、管路の詰まりの緊急対応、マンホールポンプの維持管理等の経費の確保や、今年4月に下水道料金を統一し、多くの下水道利用者に負担増をお願いしている経緯を考えると、減額は困難と考える。

浄化槽の管理・指導は県に権限があるため、県が文書で指導・勧告・立ち入り監査を行っている。以前は保健所で行っていたが、現在は県峡東林務環境事務所で行っている。浄化槽に伴う苦情は、市ごみ減量課、県峡東林務環境事務所対応している。

アンケートで下水道に接続しない理由で一番多いのは、経済的に困難が一番多く、

次は料金が高いから。浄化槽の保守点検をして今でも使える。まわりも接続をしていないという意見が多かった。未加入件数は、集計できているところが春日居町と石和町の2地区のみで、合わせて約1、100件が接続されていない。この2地区の未加入世帯がすべて加入すると、年間で約2、600万円の料金収入で、これを推計し、市の全地区で3千世帯がなくなると、推定7千万円くらいになる。

**加藤市民環境部長** 市内

河川の汚染状況は、水質汚濁防止法により、各町を流れる笛吹川流域のうち31カ所を指定し、月1回の検査を実施している。21年度に実施した水質検査結果で汚染河川は9カ所あり、石和町内で1カ所、御坂町内で2カ所、八代町内で3カ所、境川町内で3カ所となっている。汚染内容はpH値（水素イオン濃度）が環境基準である6・5から8・5を上回る河川が3カ所。BOD（生物化学的酸素要求量）が環境基準である2ミリグ

ラムを上回る河川が2カ所。DO（水中溶解酸素量）が環境基準である7・5ミリグラムを下回る河川が5カ所となっている。いずれも水生生物に障害になると考えられ、今後の経緯を見ながら、対策を講じていきたい。

**荻野市長** 今の経済状況

の中で、全戸が加入できるような施策や、期間を定めて補助金を出すことは非常に難しい。30年かけて笛吹市の上下水道は完成しており、下水道本来の目的を、しっかりと果たすことが第一義である。公営企業の下水道の経営状況は、借金が240億円あり、その利息だけでも約6億円。この体質改善が必要であり、心情的には一日も早く、きれいな川を取り戻すのが、みんなの共通の願いだと思っている。

# 総務 常任委員会

9月9日、10日、14、16

日の5日間、委員会を開催付託された条例改正案、一般会計補正予算・決算認定、過疎地域自立促進計画の策定、動産の取得の計5件を審査し、3件を賛成全員で、2件を賛成多数で可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

なお、請願2件を継続審査とした。

「総務部所管」

Q 滞納者の預金調査システム手数は、預金有無の調査をどこの金融機関でするのか。

A 昨年のシステム改修で特定金融機関全支店の調査が可能、都市銀行も見当をつけ調査している。

「消防本部所管」

Q 無線設備のアナログ波から、デジタル波の移行機器の対応は。

A 機器変更費用は出ていない。デジタル化を見据え、現在の指令システム変更でも費用は最小限で済む。

「経営政策部所管」

Q 地域振興基金積立金はいくらあり、今回の積み立ては何か。

A 47億円余。基金利子は約4、360万円で、まったりや地域イベントに充当。事業一部終了分の利子を積み立てた。

「市民環境部所管」

Q 指定管理施設の市負担工事は現場確認しているか。

A 工事中や完了後は必ず確認。漏水等の緊急工事は管財課と協議し指令書に基づき工事している。

「決算認定」

「総務部所管」

Q 固定資産税の商業地に対する軽減制度はあるか。

A 個人住宅は一定基準を満たせばある。ホテルは国際観光ホテル整備法登録があれば、ロビー部分に市の減免措置がある。商業地はない。

Q 防災備蓄品の保管量は。

A 東海地震震度6以上想定で整備。目安は3日分の食料や毛布、簡易トイレを支所防災倉庫に保管。

「経営政策部所管」

Q コミュニティ助成事業補助金が決まった経緯は。

A 一般と公民館建設の助成があり、今回一般助成事業を県に申請した。2地区から申請があり採択された。

「消防本部所管」

Q AED等の救命講習受講者人数は。

A AEDは3時間講習で16回、252人。一般救命講習は1時間33回、1、561人。

「市民環境部所管」

Q 住基カード所持者に対する特典は検討するか。

A 高齢者が免許証返納の場合、身分証明書代わりに活用。今後の検討課題。

# 教育 厚生 常任委員会

9月9日、10日、14、16

日の5日間、委員会を開催付託された条例改正案2件、一般会計・特別会計補正予算5件、一般会計・特別会計決算認定6件、計13件を審査し、賛成全員7件、賛成多数6件で、いずれも可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

「保健福祉部所管」

Q 新型インフルエンザ蔓延抑制のため、小学生までの補助金を考える必要は。

A 実施主体が市町村となるか未定だが、今後の検討課題。

「市民環境部所管」

Q レセプト最適化システム改修内容の説明を。

A 来年4月に紙ベースからオンラインによるデータベース化されるもの。

「教育委員会所管」

Q 親子体力向上事業の備

品購入費は。

A いちのみや桃の里体育館・若彦路ふれあいスポーツ館のトレーニングルームへ、各種器具を整備する。

「決算認定」

「保健福祉部所管」

Q 福祉タクシー助成の利用状況は。

A 該当者の6、7割が利用。周知の工夫を重ねる。

Q 保育料の滞納は。

A 徴収率は若干伸びている。徴収率向上に努めていく。

「市民環境部所管」

Q BDF売上・精製の支出が赤字では。

A 地球温暖化対策等に必要。回収増や公用車・施設ボイラー等のBDF利用を増やしたい。

Q 国保の疾病統計データは、

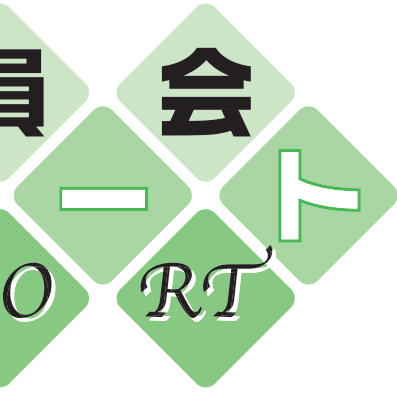
部局横断的利用で市民の健康増進を図るべきでは。

A 各課と連携し、医療費抑制に努力する。

「教育委員会所管」

Q 小学校防犯カメラ設置工事は。

A 未設置の8校に1週間記録の残る機器を設置、防犯に努めている。







# 建設経済 常任委員会

9月9日、10日、14、16日の5日間、委員会を開催付託された一般会計・特別会計・企業会計補正予算5件、保護財産区管理会会計補正予算9件、一般会計・特別会計・企業会計決算認定6件、保護財産区管理会会計決算認定9件、市道廃止・認定の計31件を審査し、いずれも賛成全員で、可決・認定すべきものと決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

「産業観光部所管」  
**Q** 新規就農農業後継者支援金は、  
**A** 対象は30歳まで、または最長5年間の補助制度。

年間150日以上の上の就農で途中離農は補助金停止・返還もある。

「建設部所管」  
**Q** 小林公園剪定・伐採処理業務の委託料は、継続予算計上か。指定管理料に含まれないのか。  
**A** 毎年予算計上する予定はない。来年度契約更新もある。内容検討する。

「公営企業部所管」  
**Q** 下水道事業債の償還額が大きいなか、受益者負担金一括納付に対する報奨金制度の見直しは。  
**A** 5段階の報奨金割合を設定、一括納付が多い。今後検討したい。

「決算認定」  
**Q** 「産業観光部所管」  
**Q** バイオマスセンター建設の事業化計画策定は。  
**A** 構想に基づく事業指針を策定、具体的な事業実施をしていきたい。

「石和温泉宿泊者減の対策は。各種大会・事業とのタイアップや、アンケート調査で消費者ニーズを把握することも必要では。」  
**A** 温泉湧出50周年を起爆

剤に、市全体を絡めた企画・立案をしたい。

「建設部所管」  
**Q** 市営住宅収納率向上対策は。保証人も差押え対象に。  
**A** 県の例を参考に、悪質滞納者は訴訟も視野に検討。差押え対象は、滞納者本人

のみとしたい。

**Q** 駅前シエルトー設置工事は、前払金支払い後、半年経つての工事着工だが原因は。  
**A** 建築確認申請が必要で、手続きに時間がかかってしまった。今後は気をつけたい。

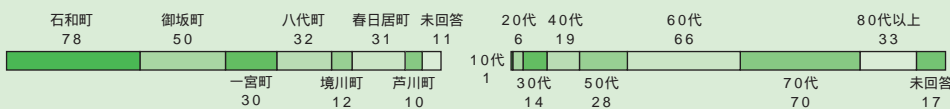
「公営企業部所管」  
**Q** 水道使用料の新しい収納対策は。多額滞納者に厳しい対応が必要では。  
**A** 給水停止を強化。多額滞納者の経営破たん問題で、執行先送りもある。現年度滞納分に重点を置く。

## 笛吹市議会だよりアンケート結果（速報）

笛吹市議会だより第23号で、市民の皆さんにお願いしましたアンケート結果（速報）を、お知らせいたします。回答数は254通（平成22年10月1日現在）で、居住別、年代別の数値はグラフの通りです。また、問2から問6までの結果は、以下の通りです。

### 問1

#### 居住別内訳



### 問2 議会に関心がありますか。

- ・ある = 165人
- ・多少ある = 60人
- ・あまりない = 18人
- ・ない = 10人
- ・未回答 = 1人

### 問3 議会だよりを読んでいますか。

- ・毎回読む = 178人
- ・ときどき読む = 52人
- ・あまり読まない = 15人
- ・読まない = 8人
- ・未回答 = 1人

### 問4 興味がある記事はなんですか。（複数回答）

- ・議会で決まったこと = 135人
- ・代表・一般質問 = 176人
- ・委員会レポート = 40人
- ・市民リレートーク = 39人
- ・その他 = 7人
- ・未回答 = 14人

### 問5 字の大きさや配置等、読みやすさはいかがですか。

- ・読みやすい = 103人
- ・まあまあ読みやすい = 114人
- ・あまり読みやすくない = 13人
- ・読みにくい = 11人
- ・未回答 = 13人

### 問6 議会に関する情報は何かから得ていますか。（複数回答）

- ・市のホームページ = 64人
- ・笛吹きらめきテレビの放送 = 51人
- ・議員から = 37人
- ・その他 = 61人
- ・未回答 = 60人

以上のような結果ですが、市議会に関心がある方、多少ある方を含めて、88%以上の方が関心があると回答されています。また、議会だよりを毎回読む、ときどき読む方も90%を超えており、関心の高さがうかがえます。

編集委員会では、最終的な数値が出て、すべての統計をとった時点で、再度詳細な結果を市民の皆さんにお知らせいたしますが、この結果を、今後の紙面づくりに生かしながら、さらに読みやすく、親しみやすい「笛吹市議会だより」の発行を、心がけていきます。

議会だよりに対する意見・要望などは、最終結果の中で掲載させていただきます。

# 市民リポート

～あなたの声を市議会へ～



## 笛吹市文化祭・石和町文化祭に応募して



石和町・パート従業員  
植松 正幸

日々暮らしている笛吹市で、文化的で住みよい生活を楽しめることが私たちの願いです。また、私は仕事の傍ら、文芸を楽しむことを趣味にしています。そして、何十年前前から石和町文化祭の短歌部門への応募を続けてきました。

石和町が笛吹市に合併されると、笛吹市文化祭も行われるようになりました。昨年は、笛吹市文化祭で入賞した短歌作品集を作ってください、私の作品も載せていただきました。また、その年、石和町文化祭でも「いさわ文芸」という冊子を発行し、私もいただきました。

笛吹市は文芸の盛んなところだと、40年ほど住んでみて実感しています。私の家の傍らに畑のある、親子ほども年の差のある農家の有賀さんと、短歌が好きなので知り合い、石和町文化祭に応募するよう勧められ、氏が亡くなってからも続けて応募しています。その後、笛吹市内の短歌の好きな人たちとも知り合い、昨年の笛吹市文化祭発行の短歌作品集には、そうした人たちの作品も載っていました。

このように、私たちに文芸を楽しめる環境を提供してくださっている笛吹市の行政の方に、心から感謝しています。

## 幸せ



石和町・会社役員  
新家 正彦

今まさに高齢化社会であり、少子化社会であります。笛吹市にも80歳・90歳のお年寄り、そして100歳を超えるお年寄りが生活しています。しかし、すべてのお年寄りが健康で、幸せと感じる日常生活を送っていらつしやるでしょうか。おそらく、足腰などの不自由を伴って毎日を送っているのではないのでしょうか。このようなお年寄りが、自宅で生活するには、誰かの介助が必要になります。

私が出勤する際、通勤車両に加え、いくつもの老人施設の送迎車両数台を見かけます。今このような経済状況の中、夫婦共働きに加え、介助が必要な高齢者を抱えての家庭も増えてきています。豊かな生活とはほど遠く、楽ではないという現実が、早朝のお年寄りを乗せた送迎車両の数に表れていると思います。

笛吹市内に特別養護老人施設が増え、入所待機者の数が減ること、そしてお年寄りが国から受ける年金でも利用できる老人施設の介助サービス・特別養護老人施設入所など、市の負担は増えますが、「おじいちゃん、おばあちゃんが幸せと感じる」、そして「介助・介護する家族が幸せと感じる」家庭が増えることを願うばかりです。



くろがねの秋の風鈴鳴りにけり

飯田蛇笏先生が昭和8年に詠んだ有名な句です。今年の夏は猛暑・酷暑、ようやく秋を実感できる時季になりました。スポーツ・読書・食欲の秋、皆さまには、それぞれの秋を堪能されていますか。

さて、国では熱い与党党首争いに決着が付きましたが、党内亀裂・衆参ねじれ・国ですべき外交・経済政策・社会保障等に対し、取るべき姿勢が不明瞭、熱意も感じられず、前途が危惧されます。

ならば、突破口をどこに見いだせばよいのでしょうか。答えは「地方」です。地方分権、権限や財源の地方移譲や行財政改革で、地方重視を訴えています。国で地方分権を進めても、地方の側に自立の意識が希薄では、分権の功を奏しません。地方も強い危機感を持ち、変革することが肝要です。

市議会も間もなく4年のうちの折り返し点、多くの市民の皆さまの熱い思いを市政に実現すべく、鋭意努力、意を新たにするとこです。大地の恵みを受けた実りの秋、温泉湧出50年を迎える冬、良い意味での賑やかな熱い季節が、年中続きますことを祈りつつ。

(大久保俊雄)

MITOYO INTERFACE



笛吹市議会だより No.24

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917  
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101  
URL:http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/

**議会を傍聴しませんが** 12月定例会は12月3日から14日まで八代議場で行われる予定です。ぜひ傍聴にお出かけください。

発行者：笛吹市議会議長 上野 稔 / 編集：笛吹市議会広報編集委員会  
委員長：大久保 俊雄 副委員長：網倉 正治  
委員：亀山 和子 新田 治江 北嶋 恒男 志村 直毅

笛吹市議会だより No.24 26